

## 8 計画策定に伴う意見募集

### 1 意見募集結果

意見募集期間	令和5年1月28日(土)から令和5年2月16日(木)まで
意見提出方法	意見募集箱への投函、郵送、FAX、電子メール
閲覧場所	飯塚市ホームページ及び下記の施設(24箇所) <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁及び各支所(穂波、筑穂、庄内、穎田)</li> <li>・中央公民館及び各交流センター(13箇所)</li> <li>・サン・アビリティーズいづか</li> <li>・飯塚市社会福協議会本所及び各支所(穂波、筑穂、庄内、穎田)</li> </ul>
提出者数・意見等件数	5名・14件

### 2 主な意見と市の考え方

項目	意見	市の考え方
第2章 飯塚市の地域福祉を取り巻く状況 2 地域福祉に関する社会資源の状況 (2) 福祉委員	「その活動記録は毎月民生委員により取りまとめられ、自治会長、」とあるが、実態と合わない為、表現を見直すべき。	ご意見を踏まえ、「その活動記録は、自治会長、民生委員、」に修正いたします。
第4章 目標達成に向けた取り組み 基本目標1 お互いを大切にしよう 活動目標1 互いに支え合う意識の醸成	日常使う言葉に変えた文章作成がしてあることはとても良いと思うが、生まれついたり性にとらわれずに生きようとする人(LGBTQ)の記載があった方がよいのではないかと。  LGBTQについて、まだまだ社会の認知度は低く、法整備も進んでない。差別や偏見も多くあり、行政として啓発を進めていくべき課題である。言葉が独り歩きしないように、用語解説の欄にも記載してもらえると良いと思う。	ご意見を踏まえ、資料編の用語解説中に「LGBTQ(セクシュアル・マイノリティ、性的少数者)」の用語解説を追記いたします。  LGBTQ(セクシュアル・マイノリティ、性的少数者)  【Lesbian(レズビアン、女性同性愛者)、Gay(ゲイ、男性同性愛者)、Bisexual(バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー、出生時に診断された性と自認する性の不一致)、Questioning(クエスチョニング)またはQueer(クイア)は性的指向や性自認が定まっていない人を指す)の頭文字をとった総称。】

<p>第 4 章 目標達成に向けた取り組み</p> <p>基本目標 2 支えあう地域づくり</p> <p>活動目標 1 地域における交流活動の促進の計画目標</p> <p>・フレイル予防事業</p>	<p>フレイル予防事業の計画目標とする、フレイル予防サポーター養成者数 215 名の根拠は何か。</p>	<p>ご指摘の計画目標につきましては、令和 3 年度までの実績である 95 名に、計画期間である 10 年間に毎年 12 名を養成することを目標とし、その合計である 215 名を目標設定しています。</p>
---	--	---

## 4 計画の策定体制及び策定の過程

---

### (1) 飯塚市地域福祉推進協議会

本計画が近年の社会潮流や本市を取り巻く現状を反映した上で、今後の地域福祉施策のあり方を示した内容となるよう、地域福祉推進組織の代表者や地域活動団体の代表者等から構成される「飯塚市地域福祉推進協議会」において、本計画案の検討を行いました。

### (2) 市民アンケート調査

地域福祉に対する意識や地域活動への参加意向、支援を必要とする人に対する施策等、市民視点から本市の地域福祉の状況や施策のニーズを把握することを目的として、市内在住の18歳以上の一般市民3,000人を対象に、地域福祉に関する市民アンケート調査を実施しました。《関連89ページ》

### (3) 関係団体ヒアリング調査

福祉に関わる団体に対して、現状における課題や共生社会を構築していくために必要なことについて、ヒアリング調査を実施しました。《関連109ページ》

### (4) 地域の取り組み状況調査

第2期計画期間における各地区の福祉に関する取り組み状況や地域の福祉課題を把握するため、市職員が市内の地区(校区)社会福祉協議会やネットワーク委員会にお伺いし、会長等役員の方々より聞き取り調査を実施しました。《関連114ページ》

### (5) 市民意見募集の実施

第3期飯塚市地域福祉計画の策定にあたり、計画内容の充実を図るため、市ホームページと市役所を始めとする24箇所で計画(案)を閲覧し、市内在住の方、市内へ通勤・通学している方から意見を募集しました。《関連〇〇〇ページ》

## 2 地域福祉に関する社会資源の状況

### ■地域福祉を推進している主な団体等

#### (1) 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員とは、民生委員法、児童福祉法に基づき市町村単位に配置され、厚生労働大臣から委嘱されている非常勤の公務員です。社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行うことにより、社会福祉の増進を図ることを目的としています。

令和4年(2022年)10月1日現在の民生委員・児童委員は285人(うち主任児童委員26人)です。

#### ●民生委員・児童委員の主な活動

①社会調査、②相談、③情報提供、④連絡通報、⑤調整、⑥生活支援、⑦意見具申

#### (2) 福祉委員

福祉委員は、地域の要支援者見守りネットワークの中心を担う人材として、自治会長と民生委員の合議により推薦され、飯塚市社会福祉協議会会長が委嘱します。

令和4年(2022年)10月1日現在で560人の福祉委員が市内全域で活動しており、その活動記録は毎月民生委員により取りまとめられ、自治会長、地区(校区)社会福祉協議会、飯塚市社会福祉協議会がその情報を共有するしくみになっています。



(修正後)

#### (2) 福祉委員

福祉委員は、地域の要支援者見守りネットワークの中心を担う人材として、自治会長と民生委員の合議により推薦され、飯塚市社会福祉協議会会長が委嘱します。

令和4年(2022年)10月1日現在で560人の福祉委員が市内全域で活動しており、その活動記録は、自治会長、民生委員、地区(校区)社会福祉協議会、飯塚市社会福祉協議会がその情報を共有するしくみになっています。

## 6 用語解説

---

あ行

### ● LGBTQ (セクシュアル・マイノリティ、性的少数者)

Lesbian (レズビアン、女性同性愛者)、Gay (ゲイ、男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender (トランスジェンダー、出生時に診断された性と自認する性の不一致)、Questioning (クエスチョニング) またはQueer (クイア) は性的指向や性自認が定まっていない人を指す) の頭文字をとった総称。

	市民からの意見		市の考え方	
	該当箇所	意見		
1	P24	<p>第2章 飯塚市の地域福祉を取り巻く状況</p> <p>2 地域福祉に関する社会資源の状況</p> <p>(2) 福祉委員</p>	<p>「その活動記録は毎月民生委員により取りまとめられ、自治会長、」とあるが、実態と合わない為、表現を見直すべき。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「その活動記録は、自治会長、民生委員、」に修正いたします。</p>
2	P39 P40 P80 P82	<p>第2章 飯塚市の地域福祉を取り巻く状況</p> <p>3 第2期計画のふり返り</p> <p>第4章 目標達成に向けた取り組み</p> <p>基本目標 3 つながるしくみづくり</p> <p>活動目標 3 安全・安心な暮らしを守る活動の推進</p>	<p>避難行動要支援者について、2月から3月に調査があるが、登録したら助けに来てもらえるのか、という声をきく。どのように運用していくのかははっきりしていない為、本人も民生委員も戸惑っている状態である。早くきちんとした体制を作ってもらいたい。</p>	<p>過去の災害の教訓から、災害が発生した直後は、市や警察・消防といった行政の支援が間に合わず、すべての人を助けに行くことが不可能であることが分かっています。</p> <p>このため、災害から身を守る手段の一つとして、避難行動要支援者名簿の登録や個別計画の策定をすることで、災害からの避難について、ご本人やご家族が考えていただくことから始めていただいています。</p> <p>また、そういった取り組みによって得た情報を整理し、行政だけでなく自治会や民生委員、自主防災組織などの地域の皆様と共有することで、災害時に助け合うことができる体制の構築を進め、災害に強いまちづくりに向けた取り組みを強化してまいります。</p> <p>(住民一人ひとりが、日頃から地域のつながりと助け合いを通じて、災害から身を守るための話し合いを積極的に行っていくことで、より一層災害時における避難支援体制の強化につながる)</p>
3	P53	<p>第4章 目標達成に向けた取り組み</p> <p>基本目標 1 お互いを大切にしよう人づくり</p> <p>活動目標 2 住民主体の地域福</p>	<p>地域共生社会の実現に関して、高齢者、障がい者、子どもが集まる場所の創出は重要であると考ええる。他県、他市の活動も参考にしようかと考える。個人的には本町商店街を使い、そういった場の提供を行えば商店街も人が集まり活性化になるのではない</p>	<p>ご意見を踏まえ、「地域共生社会」の実現に向けた取組を推進してまいります。</p>

		祉の推進	かと考える。高齢者はその場に参加（社会参加）する事で、フレイル予防や健康寿命の延伸にも繋がり、障がい者も必要とされているという実感や子供達も高齢者や障がい者と関わる事で良い経験になると思われる。コロナ禍で難しい所と、どういった事を企画するのか、またまず参加する人はいるのかという問題もある為メリットを大きく打ち出さないといけないと考える。そういった地域共生社会の企画や場の提供をして下さる事業所に補助金の対応などを行う事も活動の促進になるのではないかと考える。	
4	P53	第4章 目標達成に向けた取り組み基本目標 1 お互いを大切にし合う人づくり	<p>日常使う言葉に変えた文章作成がしてあることはとても良いと思うが、生まれついた性にとらわれずに生きようとする人（LGBTQ）の記載があった方がよいのではないかと。</p> <p>LGBTQ について、まだまだ社会の認知度は低く、法整備も進んでない。差別や偏見も多くあり、行政として啓発を進めていくべき課題である。言葉が独り歩きしないように、用語解説の欄にも記載してもらえると良いと思う。</p>	<p>ご意見を踏まえ、資料編の用語解説中に「LGBTQ（セクシュアル・マイノリティ、性的少数者）」の用語解説を追記いたします。</p> <p>LGBTQ（セクシュアル・マイノリティ、性的少数者）【Lesbian（レズビアン、女性同性愛者）、Gay（ゲイ、男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー、出生時に診断された性と自認する性の不一致）、Questioning（クエスチョニング）またはQueer（クイア）は性的指向や性自認が定まっていない人を指す）の頭文字をとった総称。】</p>
5	P61	第4章 目標達成に向けた取り組み 基本目標 1 お互いを大切にし合う人づくり 活動目標 2 住民主体の地域福祉の推進	<p>飯塚市フレイル予防サポーター215名総員計画について</p> <p>①現在フレイル予防サポーター登録者は約95名であるが、この1～2年一度も活動していないサポーターは何人か。</p> <p>②活動していない理由は何か。（交通手段・時間的な問題等）</p> <p>③今後、市のフレイル予防活動において、フレイル予防サポーターの立ち位置をどう捉えているのか。</p> <p>④目標値215名の根拠は何か。 現実に活動しているサポーターの実状を無視して、ただ増員すればよいというものではない。</p>	<p>① 本市で把握している範囲では、活動が確認できていないフレイル予防サポーターの人数は、令和3年度では21名となっています。</p> <p>内訳としては、活動休止中が10名、未活動が11名です。</p> <p>② 本市で把握している理由として、就労や家族の介護等の家庭の事情、体調面等の本人の事情等があります。</p> <p>③ 平成28年に事業を開始してから7年が経過しようとしていますが、第1期のサポーター15名から、7年目の令和5年2月時点では、100名を超えるサポーターが登録されています。</p> <p>フレイル予防活動はサポーター自身の主体的な活動が最も重</p>

				<p>要であり、地域コミュニティの重要な担い手であるため、今後もフレイル予防サポーターを中心として、飯塚病院や地域包括支援センター等協力機関と協働で、フレイルの普及啓発活動を実施していく予定です。</p> <p>④ 令和3年度の実績95名に、10年間に毎年12名を養成すると試算しています。</p> <p>※ 1年間で養成講座に20名受講を目標としていますが、家庭の事情・体調等で辞退する方もおられるため、純増で12名を目標として設定しています。</p> <p>&lt;95名+(年12名×10年)=215名&gt;</p>
6	P61	その他	<p>現在建設中の新体育館にグラウンドゴルフ場が併設される予定であるが、交通手段のない高齢者には不便な場所ではないか。いつでも、気軽に行ける場所とはいえない。移動手段をどうするか、考えを聞きたい。</p>	<p>公共交通機関では、最寄りのバス停は、西鉄バスの篠田団地、最寄り駅では、JR福北ゆたか線の浦田駅がございます。</p>
7	P76	第4章 目標達成に向けた取り組み基本目標3 つながるしくみづくり活動目標2 包括的な支援体制の構築	<p>総合相談窓口を作ってもその制度を本当に必要な人が相談に来なければ意味がないと思われる。その為、【助けて欲しい事を助けて欲しいと伝える事ができない人】にアプローチしていくのは民生委員・福祉委員になると思われる。75歳以上の単身世帯を民生委員は訪問している為、訪問した場合に制度に繋がった方がよいもしくは支援者に一度介入してもらった方が良く考える方は包括と連携を行う。その為、民生委員に対しての教育や活動の姿勢を伝える事は必要であると考え。</p> <p>また、必要な制度や事業が地域住民に周知できるようにアンケートで福祉に関する情報の取得が一番高かった市報にその情報の掲載は重要であると考え。市のホームページは高齢者はあまり見ないと考える為である。市報にふれあい収集の件は掲載があったと思うが、SOS徘徊等ネットワーク事業やコロナ感染者等買い物支援は私の記憶では掲載されていなかったと思う。飯塚市の</p>	<p>今後とも、民生委員・児童委員、福祉委員等と連携し、相談援助を進めてまいります。</p> <p>また、ご意見を踏まえ福祉情報の周知の検討に努めます。</p>



			事業などは市報に基本掲載した方が必要な方に利用して頂けるのではないと考える。	
8	P77	第4章 目標達成に向けた取り組み 基本目標 3 つながるしくみづくり 活動目標 2 包括的な支援体制の構築 (1) 断らない相談支援体制の構築	重層的支援体制整備事業に関しては早急に進めて頂きたい。現在複合的な課題で 8050 問題やダブルケア、ヤングケアラーなどの問題を抱えている人は多くいると考えられる。また、2025 年問題で日本の人口の 800 万人が後期高齢者になる事によって 4 人に 1 が後期高齢者となり飯塚市も喫緊の対応が必要であると考えられる。アンケートの調査内容にもあったように、気軽に相談ができ 1 カ所で相談が済むような「総合相談窓口」の設置が必要であると考えられる。私の考えとしては、基幹型の包括支援センターを設置して、最低でも 3~4 名の職員を配置し対応してはどうかと考える。まずはたらい回しにせず、相談内容の聴き取りを行い、基幹包括（基幹包括で支援完結できる場合は行う）ではなく専門の機関で対応が望ましい場合は障害基幹相談支援センターや保健所に繋げる。そして場合によっては委託包括支援センターと連携を行う。基幹型の包括支援センターの職員は豊富な知識を持った社会福祉士（高齢者、障害者、児童、生活困窮者の制度を把握している）が望ましいと考える（もちろん研修等は必要と考える）。社協職員であれば、複数名の社会福祉士がいる為、そこからの人選が良いのではないかと考える。相談窓口の場所としては、市民が一番相談しやすい飯塚市役所本所が望ましいと考える。	重層的支援体制整備事業の推進にあたっては、ご意見も参考にしながら、進めてまいります。
9 10	P78	第4章 目標達成に向けた取り組み 基本目標 3 つながるしくみづくり 活動目標 2 包括的な支援体制の構築 (2) 福祉サービスや支援の一層の充実	「研修を実施することにより」を「研修を実施することにより」へ修正。  ※2名から、同様の意見受付	ご指摘のとおり修正いたします。

11	P78	第4章 目標達成に向けた取り組み 基本目標 3 つながるしくみづくり 活動目標 2 包括的な支援体制の構築 (2) 福祉サービスや支援の一層の充実	「第三者評価制度による評価内容を活用して」とあるが、どこで内容を見ることができるか。	福祉サービス第三者評価制度による評価内容につきましては、福岡県福祉サービス第三者評価推進機構（福岡県社会福祉協議会）のホームページからご確認いただけます。
12	P89	資料編 2 飯塚市地域福祉推進協議会委員名簿	地区社協・地域ネットワーク委員会5地区からの構成となっているが、飯塚地区1名は割合的に少ないのではないかと。また、委員の交代はあるのか。	委員構成は、平成19年4月1日より現在の体制であり、その任期は2年となっています。 ご意見につきましては、参考とさせていただきます。
13	P103	資料編 3 市民アンケート調査の結果	民生委員の認知について、高齢者に対する支援が多くを占めるため、高齢者以外の年代の人たちには認知されていないのは当然だと思う。	民生委員・児童委員の周知拡大に努めてまいります。
14	その他	その他	閲覧場所備え付け冊子について、若者はスマートフォン等でホームページから素案を閲覧することに慣れているが、閲覧場所備え付けの場所に冊子が一冊しかなく、同時に複数人が閲覧することとなった際に大変であるため、少なくとも二冊設置されていると良いと思う。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。